

Access Report

2020年 5月 15日号
アクセス教育情報センター

目次

学校情報	学校情報	教育情報	その他	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・恵泉女学園 ・湘南白百合学園 ・昭和女子大昭和 		<ul style="list-style-type: none"> ・AO入試 ・コロナ後の大学 ・コロナ休校 	<ul style="list-style-type: none"> ・名言・迷言・冥言 ・新型コロナ ・人権報告書 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍 ・アベノマスク

学校情報

恵泉女学園 2021年入試要項概要

2月2日が平日なので午前入試に戻す。

第1回 2月1日午後 80名 2科(国・算)

第2回 2月2日午前 70名 4科(国・算・社・理)

第3回 2月3日午後 30名 2科(国・算)

第1回は帰国生枠約10名を含む。

受験料は1回22,000円。ただし1月30日までに複数回を同時出願した場合は2回35,000円、3回45,000円。1月31日以降の出願は複数回同時出願であっても、1回22,000円。

いったん納入した受験料は理由の如何を問わず返金しない。

出願はすべてWeb出願。

2月2日の社会、理科をそれぞれ単独に実施(各30分、70点満点)

入学手続きは第1回が2月3日15:00まで。第2回が2月4日15:00まで。

第3回が2月6日15:00まで。

複数回受験者は繰り上げ合格を出す際に考慮する。

詳細は下記を参照。

<https://www.keisen.jp/information/index.php#con02>

https://www.keisen.jp/information/pdf/nyushi_question2020.pdf

<https://www.keisen.jp/>

＝複数回受験者の受験料の扱いは恵泉女学園らしくないと感じてしまう。＝

湘南白百合学園 Web塾対象説明会（2020年5月8日）

2)入試問題について 各教科より

1. 国語 45分 100点

①出題形式

- ・長文2題（80点）
 - ・漢字・慣用句
 - ・四字熟語・ことわざ
 - ・文法
- }（20点）

設問の配点は1点～10点（記述解答）

難易度は標準レベル＋ α

標準レベル・・・小学校6年までの学習内容を身につけていること

＋ α ・・・知識だけでなく応用する力（要約力、論理力、記述力、思考力）も大切。そのためには、本を読んだり社会に目を向けること。

②長文問題

物語文：登場人物の気持ちの変化から主題を捉える＝他者の気持ちに寄り添って文章が読めるか。
少女だけではなく少年や大人、老人が主人公の文章もある。

うれしいー気持ち

泣くー動作・行動

顔が赤くなるー表情

「やった！」ー言葉

晴れ渡った空ー情景描写

などから登場人物の気持ちを読み取る。

説明文：文章の話題や要旨に深く関係しているキーワードを探す。傍線を引いたりまるで囲んだりしながら読む練習を。

繰り返し出てくる言葉や段落の始め、終わりに出てくる言葉に注意する。

語句の意味、接続詞、表現技法、指示語などに注意する。

③注意点

記述式の解答では、問いに合った答え方をすること。

なぜですか。→ ～だから。

どういことですか。→ ～ということ。

国語では記述式の解答の出来が合否の境目になっている。

記述式の解答には部分点がある。

漢字について

- | | |
|-----------|-----|
| ①研究のタイショウ | 対 象 |
| タイショウ的な性格 | 対 称 |
| ②本を手にとる | 取 る |
| 会議で決をとる | 採 る |

漢字では同音異義語に注意すること。

漢字書き取りのトメ、ハネ、ハライは減点の対象になる。

記述式の解答で指示された字数に達していない場合は減点。

抜き出し問題で、誤字、脱字がある場合は減点。

2. 算数 45分 100点（算数1科入試は後述）

①2020年の平均点は54.3点。

出題分野・形式

大問1 計算・小問集合

大問2 文章題

大問3 関数の問題(グラフ)

大問4 平面図形

大問5 立体図形

出題分野は幅広い分野からバランスよく出題するように心がけている。特定の分野に偏った勉強をしないようにというメッセージでもある。

計算ミスを防ぎ、基礎的な問題をキチンと解けば、合格者平均の6割くらいには届く。

大問1と大問2以降の最初の小問が解ければ、かなりの得点になる。

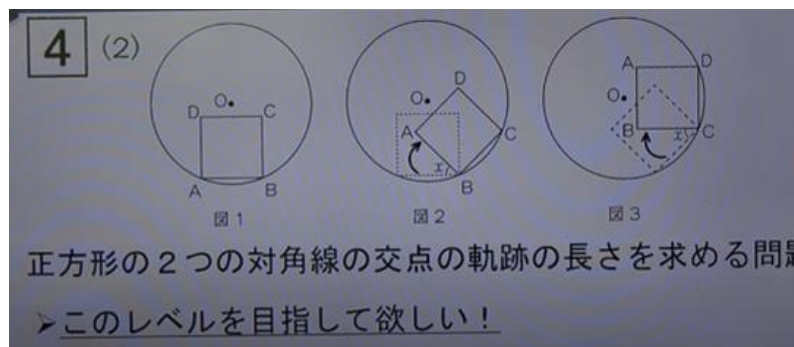
分野の偏らずに、基礎力をつけるように。

グラフを書く問題、途中の考え方を書く問題が1問ずつある。

②2020年入試で差のついた問題

大問1(4) 基礎をしっかりとっておいて欲しい

大問4(2) このレベルの問題まで対応できるようにして欲しい



大問5 解きやすい問題なのに差がつく。時間が足らず最後まで手がつかなかったのでは。

③2021年入試

出題分野は基本的にこれまで通り。

小学校で学んだことを基にして、思考力を測る問題を出題する。

3. 算数1科 60分 100点

①2020年入試

受験者平均 73.5点、合格者平均 88.2点

大問1(70点) オーソックスな計算問題、文章問題、図形の基本問題

ほとんど差がつかなかった。いかにミスを少なくするかがポイント。

大問2(10点) 理科的な問題

問題を多角的に見る力、グラフを読み取る力を見る。

大問3(10点) 統計的な処理問題

統計的な考え方を見る。

大問4(10点) 記述問題

思考力、表現力を見る。

シンプルにポイントを捉えた解答には数学的なセンスを感じる。

このような問題をこれからも出題していく。

大問2、大問3、大問4で合否の差がついた。

②2021年入試

出題傾向を変えるつもりはない。

平均点が高かったこともあり、もう少し問題の難度を上げる可能性がある。

4. 理科 40分 100点

①出題のねらい

- ・基本的な知識・技能
 - ・計算力
 - ・文章読解力
 - ・科学的な興味・関心を持ち、それを論理立てて考える力
- をバランスよく評価したい。

②出題範囲・配点

大問1 生物分野(30点)

大問2 化学分野(25点)

大問3 地学分野(20点)

大問4 物理分野(25点)

小問数で50～60問。小問で段階を踏んで問題を解くように設定している。

③問題構成

用語を問う問題

選択式問題

記述問題

計算問題

グラフの書き取り問題

④2020年入試を終えて

知識を問う基本的な問題の正答率は高かった。大問2(1)、大問3(1)など。

オーソドックスな計算問題では合格者と不合格者とで正答率に差が出た。大問2(9)、大問3(3)など。

⑤2021年入試に向けて

問題作成の基本的な考え方は同じ。

基本的な知識・技能の習得と計算力の強化の2点に注意して欲しい。

問題文をよく読むこと。

身の周りの自然や科学的なニュースにも興味をもつこと。そういう人に入学してきて欲しい。

5. 社会 40分 100点

①2020年入試

受験生平均61.9点

出題分野・配点

地理 45点

歴史 45点

公民 10点

②作問の意図

基本的な知識の定着・・・最も重視している。問題数も多い。

歴史: 法隆寺を建てたのは誰ですか

地理: 日本海を流れる暖流は

この地図記号は何をあらわしているか

因果関係(知識をつなげて分析する力)・・・根拠や理由を明確にして表現できるか。

歴史: 戦時中の鉄や銅の供出の理由

社会への関心・・・ニュースについて調べたり、自分ならばと考えることを大事にして欲しい。

公民: 海洋プラスチック問題(小学校内で海洋プラスチックを減らす取り組みとしてどのようなことがあげられますか。20～25字で書きなさい)

③2021年入試

小学校指導要領の改訂にともない、配点を変更。

地理 40点

歴史 40点

公民 20点・・・基礎的な知識の定着を見る問題、時事的な問題も。

基礎的な知識の定着、因果関係、社会への関心を見る問題を作成していくつもり。

6. 英語

湘南白百合の英語教育

5領域(聞く・読む・書く・やり取りする・発表する)をバランスよく身につける

基礎

発展

進路達成へ

中1(週7)

中2(週7)

中3(週7)

高1(週7)

高2(週6~11)

高3(週6~12)

E class

習熟度別クラス

レギュラークラス

(HRクラス)

(習熟度別)

(文系選択) 英語総合(Native教員)

オールコミュニケーション(Native教員)

(文系選択) フランス語

①湘南白百合の英語教育

5領域(聞く、書く、読む、やり取りする、発表する)をバランスよく身につける。

6年間で3つのステップに分け、3つのことを大事にしている。

- ・生徒一人ひとりの様子に目を配り、ていねいに寄り添う。
- ・バランスの取れた基礎力をキチンと養成する。
- ・世界とつながる。

生徒一人ひとりが異なるベースを持っている。それに寄り添うために複数のクラス(レギュラークラス、Eクラス)を用意。

レギュラークラス・・・2クラスを3分割にして授業

中1:学習習慣をつけ、英語の楽しさを知る

中2:ゆるやかな習熟度別クラスに

小テストや放課後補習をこまめに行う。英検面接練習、個別指導も行う。

湘南白百合ではリーディング、ライティングだけでなく、ネイティブによるリスニング、スピーキングも早くから取り入れ、4技能のバランスを大事にしてきた。現在は全ての授業でShow and Tellという形で発表する機会を用意している。

高2、高3では受験教科としての対策も行っている。入試直前には個別指導をフル稼働し、英語が進学実績の土台となっている。

今後も湘南白百合のバランスの取れた英語力の育成で、大学入試改革に充分対応出来ると考えている。

新中1は授業が始まっていないが、英語科の教員が英語の楽しさを伝えるべく、アイデアとリソースを駆使して動画を配信している。

Eクラス(英語力の高い生徒向けクラス)・・・気硬性が海外で身につけた英語力を落とさず、継続して表現力を磨いていくことを目標としている。

1クラス6～7名。ネイティブが週3時間担当。

教室内では全て英語で。PCを使った調べ学習、レポート作成、プレゼンが行われている。

少人数なので、一人あたりの活動量がとても多い。

②英語での活動

・高校生ディベートでの活動

全国大会に必ず予選を通過して出場している。

・オンライン英会話

放課後、希望者対象。1回30分。

③グローバル教育

希望者対象の研修プログラムが組まれている。

④2020年入試

帰国生入試 12月に日程を変更

A方式(国・算・英のうち得点の高い2教科で判定)

24名受験 10名入学

B方式(国・算)

12名受験 5名入学

英語資格入試(国・算＋英検の点数化 一般入試と同日、海外在住経験不問)

8名受験 5名入学

国内のインターナショナルスクール在籍者、英語好きな小学生が受験。

2020年度入学者168名のうち、20名がこれらの入試で入学。